

「みやざき県民復興協力隊」活動報告（第5班：7月4日～7月9日）

1 活動初日【7月5日（火）晴れ】

活動初日は、四倉地区（2か所）平地区（豊間、薄磯の各1か所）泉地区の計5所に分かれ、被災家屋内の家財等の撤去、ごみの分別・運搬などを行いました。活動場所の中には、辺り一面大変な被害に遭われている地域や、損壊している家屋のすぐ横に、家屋が建っている地域など目を疑うような光景がありました。隊員は精力的に活動し、活動中、被災者の方の思い出の品を見つけるなど、大変有意義な1日でした。



2 活動2日目【7月6日（水）晴れ】

この日は、四倉地区（4か所）平地区（豊間、薄磯の各1か所）常磐湯本地区の計7か所に分かれ、被災者宅の家財等の撤去、泥だし、ごみの分別・運搬などを行いました。この日は蒸し暑く、普通に立っているだけでも汗が拭き出てくる1日でした。隊員はこまめに休憩などを取りながら、活動に励んでいました。また、被災者の方から「隊員の方々はとても親切で、感謝の気持ちでいっぱいです」という声も聞かれ、改めてボランティアの力は大変大きいと実感しました。

3 活動3日目【7月7日（木）曇り】

この日は、久之浜地区（2か所）平地区（豊間）小名浜地区（網取）の計4か所に分かれ、田んぼの中のがれき撤去、被災家屋の家財等の撤去、床下の土砂除き、かまぼこ工場内のごみの分別・運搬などを行いました。この日は1日中曇りで、活動しやすく、疲れが溜まる活動3日目としては良かったのではないかと感じました。隊員は活動にもだいぶ慣れ、各グループのリーダーにも

率先してなられていました。地元や県外のボランティアの方々とも交流を深め、共に助け合いながら活動を行いました。



4 活動最終日【7月8日（金）雨のち曇り】

この日は、久之浜地区（末続）、四倉地区（2か所）、平地区（豊間）、江名地区の計5か所に分かれ、被災者宅の家財等の撤去、ごみの分別・運搬、床下の清掃、土のうの運び出し、かまぼこ工場内のごみの分別などを行いました。この日は朝方からあいにくの雨でしたが、昼前には止み、4日連続で屋外での活動ができました。大きなけがや体調不良もなく、丸4日間活動できたことが一番良かったと感じています。またボランティアをとおして、隊員にもまとまりが生まれ、一体感を感じました。被災地の復興支援はもちろん、隊員が得られたものも沢山あった4日間だったと感じています。



5 隊員の方の感想

隊員の方々の感想の一部をご紹介します。

- ・「ボランティアを通して、いろんな方と知り合いになれた事や現地の方の話を聞く事ができ、すごく良かった。」
- ・「多くの気づきを得、今後この経験をどう活かしていくかが自分の課題です。」
- ・「地域によってはかなり遅れていると思った。支援の態勢を国がしっかりバックアップしないと進まないと思う。」
- ・「まだまだ人手が足りない。参加者同士の振り返りが必要だと思う。」
- ・「楽しく汗をかいて協力しながらできた事が何より力になりました。」
- ・「福島の皆様の心遣いや気遣いがすごく印象的で、行く前の不安がすぐ、感謝の気持ちでいっぱいになり、自分の方が元気をもらった様な気がします。」
- ・「復興にはまだ時間がかかり、継続的な支援が必要で、それを学ぶことができた貴重な経験でした。」
- ・「また機会があれば違うボランティアにも参加したいと思います。」

最後に、6月7日から7月8日までの長期間、計5班、総勢100名の「みやぎ県民復興協力隊員」を温かく迎え入れてくださったいわき市災害救援ボランティアセンターの皆さまに心からお礼を申し上げます。

一日でも早い復興をお祈りいたします。